京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

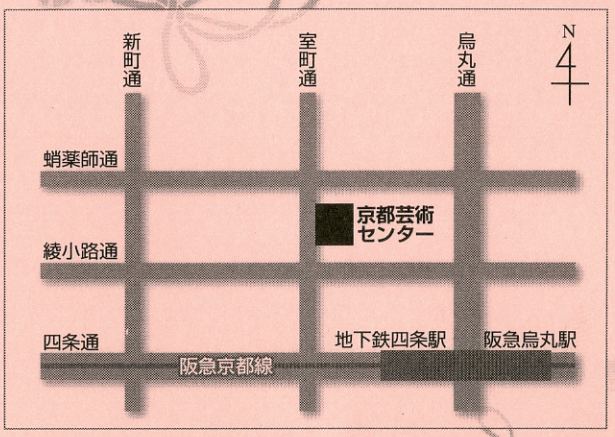
日本伝統音楽研究センター
第40回公開講座

おかげさまで、2015年4月、
伝音センターは15周年を迎えます！

常磐津節（ときわづぶし）の伝承と現在

日時 平成27年(2015)
2月2日(月曜日)
午後1時～2時（12時40分開場）

場所 京都芸術センター 講堂
地下鉄四条駅／阪急烏丸駅 22･24番出口より徒歩5分
〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2



参加料 無料（申込み不要）

主　催：京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター　共催：京都芸術センター
問合せ：京都市立芸術大学 事務局連携推進課（事業推進担当）
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6　電話：075-334-2204　Fax 075-334-2241　Eメール public@kcua.ac.jp

座談会 常磐津節の伝承と現在

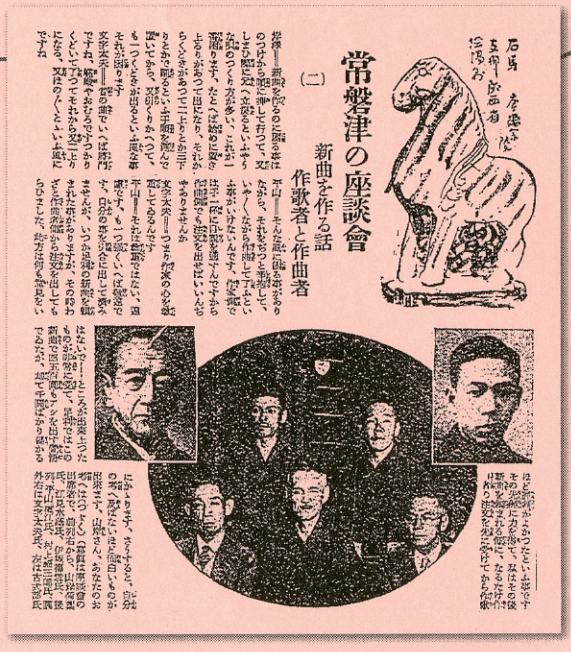
出演

九代目 常磐津文字太夫（ときわづもじたゆう）
十七世常磐津家元、常磐津協会会長
重要無形文化財常磐津節保存会会長

常磐津都喜蔵（ときぞう）
一般社団法人 関西常磐津協会理事長

竹内道敬（たけうちみちたか）
元国立音楽大学教授

〈司会・構成〉竹内有一（たけうちゆういち）
日本伝統音楽研究センター准教授


常磐津の座談會
（二）
新曲を作る話
作歌者と作曲者

京都生まれの初世文字太夫が創始し、江戸歌舞伎になくてはならない浄瑠璃として発達してきた常磐津節。
昭和4年の『都新聞』に連載された、七代目常磐津文字太夫らによる座談会の内容を振り返りながら、演奏者の役割と現在、復曲と新作、時代と共に変わること／変わらないこと等について、第一人者をお招きしてお話をうかがい、伝承の秘訣について考察します。

同日開催のご案内

座談会の終了後、同じ会場で、常磐津節の演奏と解説がありますので、あわせてご参加ください。
午後2時30分より（予定）。主催：常磐津節保存会（同会講習会）。参加料：無料。

演　目「薪荷雪間の市川」（山姥）。
出　演（浄瑠璃）常磐津美佐季（みさすえ）、都代太夫（とよたゆう）、若音太夫（わかねだゆう）
（三味線）常磐津都喜蔵（ときぞう）、都史（とし）、（上調子）三之祐（うわぢょうしさんのすけ）